

2020年度第1回低合金鋼技術文書検討分科会議事録

1. 日 時： 2020年7月2日（木） 15:50～16:30
2. 場 所： （一財）石油エネルギー技術センター第1・2・3会議室、オンライン会議

3. 出席者

- 委員： 辻主査（東京電機大）
事務局： 小林・福本・佐藤（JPEC）
TFメンバー 荒島様（JSW）
オブザーバー： 林・東條（JPEC）

オンライン会議参加

- 委員： 吉川委員（東京大学）、小川委員（青山学院大学）、小茂鳥委員（慶應義塾大学）、
澁谷委員（横浜国立大学）
オブザーバー： 志賀様（KHK）、早坂様（NEDO）

4. 配布資料

2020資料01 低合金鋼技術文書改定について

5. 議事概要（主な質疑、意見等）

(1)低合金鋼技術文書（TD）改正について（2020資料01）

- ・ 水素圧縮機を含めた場合のTDの全体構成を検討すること。（委員）
→承知しました。次回分科会で改正案をお示しする。（事務局）
- ・ 今回得られた K_{IH} の値が文献値の下限付近であるが、それは問題ないのか？（委員）
→文献とは試験材が異なるので単純な比較は難しいと考えている。（事務局）
- ・ 異方性評価というのは、軸方向と周方向の異方性のことか？（オブザーバー）
→そうである。軸方向と周方向で特性が異なるのか確認するために実施した試験である。（事務局）
→試験結果の報告は無かったが、異方性はあったのか？（委員）
→異方性は無いことが確認された。（TFメンバー）
- ・ 水素圧縮機へ低合金鋼を適用する際に考慮すべきことは、温度の影響と水素チャージの影響だけでよいといえるのか？（委員）
→現在水素圧縮機メーカーへのヒヤリングを行っており、水素圧縮機で考慮すべき項目が他にもあるか検討中である。（事務局）
- ・ 高温の水素中材料試験は行わないのか？（委員）
→高温（200℃）水素中の材料試験も進めている。次回分科会でお示しする。（事務局）
- ・ 低合金鋼を圧縮機のどの部分に使用する想定なのか。（委員）
→シリンダーである。（事務局）
- ・ 今回は初回ということで改定の概要について説明いただいた。（委員）
→次回は具体的な改正案について審議いただく。（事務局）

6. その他

- ・ 今年度の検討分科会日程を決定した。タイプ2分科会と同日開催とする。
第2回 10/9（金）15:30（予定）～ JPEC（オンライン会議併用）
第3回 12/18（金）15:00（予定）～ JPEC（オンライン会議併用）

以上